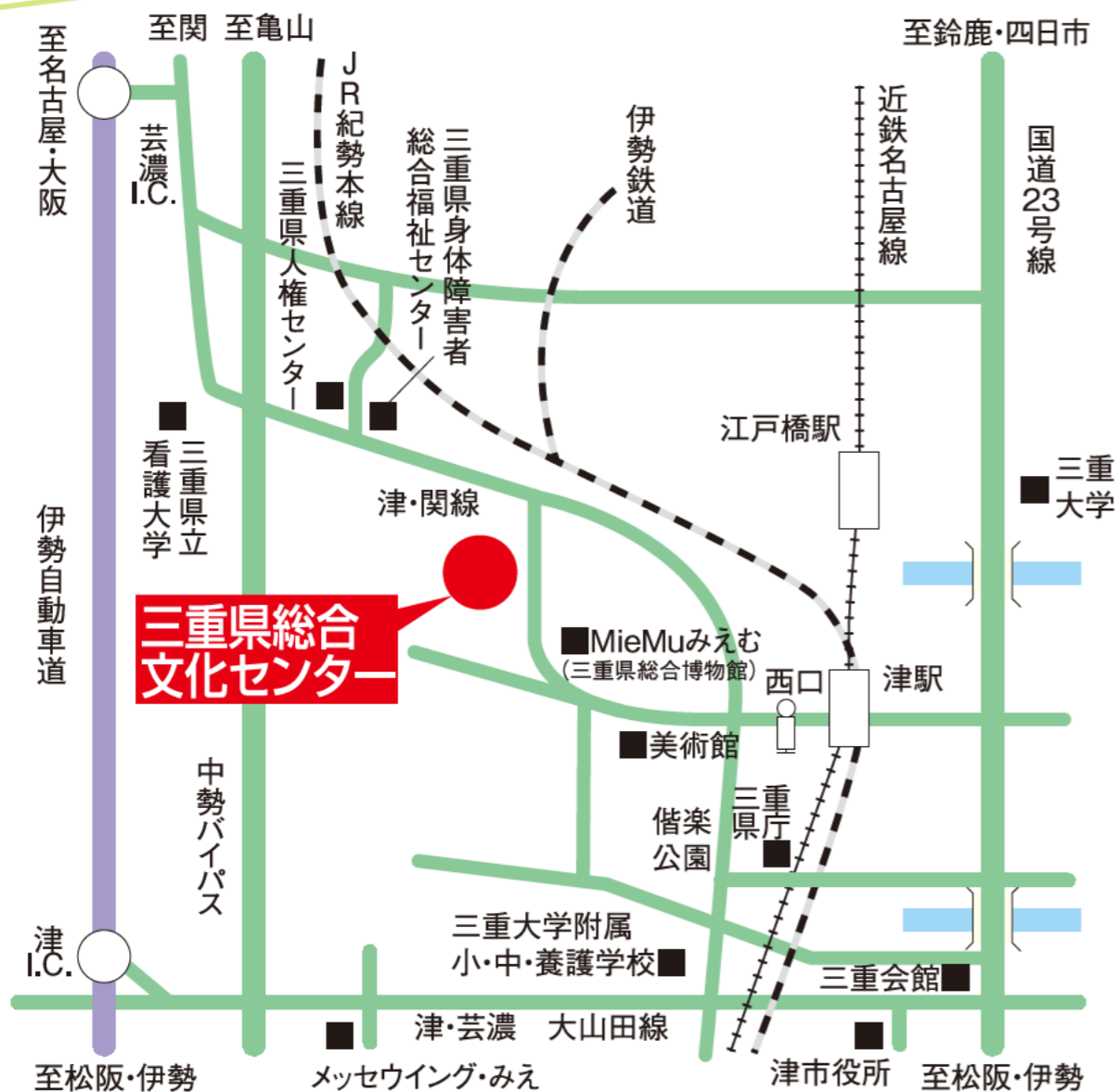


ACCESS

会場へのアクセス



津駅からお越しの方

- 徒歩(1.8km 片道 約24分)
- タクシー(約10分 片道 1,000円程度) 津駅西口タクシー乗り場からご利用ください。
- バス(約10分 片道 220円)(1時間に2本程度運行) 津駅西口前のロータリー沿いにバス停があります。
バス停「総合文化センター行き・夢が丘団地行き(系統番号89)」乗車
バス停「総合文化センター前・総合文化センター」下車すぐ

【お問い合わせ先】

三重県子ども・福祉部子育て支援課 内
平成30年度 健やか親子21全国大会実行委員会事務局
住所 〒514-8570 三重県津市広明町13番地
電話 059-224-2248
FAX 059-224-2270



2021三重とこわか国体・三重とこわか大会
マスコットキャラクター とこまる

母から子へ ～常若(とこわか)に輝く社会をめざして～



津市美杉町「三多気の桜」(日本さくら名所100選)

平成30年度

健やか親子21全国大会 (母子保健家族計画全国大会)

- 期 日** 平成30年 **11月7日(水)～11月9日(金)**
- 会 場** 三重県総合文化センター(津市一身田上津部田1234)
- 併 設** 母子保健関係者研究集会
愛育班等組織支援担当者会議
母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会
家族計画研究集会
全国母子保健推進員等連絡協議会正副会長会議



津市PRキャラクター
シロモチくん



健やか親子21

主 催 | 厚生労働省・三重県・津市・社会福祉法人恩賜財団母子愛育会・一般社団法人日本家族計画協会
公益社団法人母子保健推進会議

大会テーマ

母から子へ ～常若(とこわか)に輝く社会をめざして～

「常若(とこわか)」とは「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま」を意味し、遷宮のたびに生まれ変わり、時代を経ても瑞々しい姿を保ってきた伊勢神宮の精神を表す言葉です。

日本の周産期医療は世界トップクラスになり、子育て世代に対する様々なサービスも充実してきました。しかし同時に、社会の変化に伴う家庭の孤立化などにより、個人や単独の支援機関のみでは解決が難しい課題も出てきています。

母から子へ、そして平成から新たな時代へ。子育て家庭を支える私たちみんなが共に手を携え、親子が常若に輝く社会をめざしていきましょう。

2018
11/7
Wednesday

母子保健関係者研究集会

時間 13:30~15:00

会場 三重県総合文化センター 小ホール

テーマ「思春期をのりきるための乳幼児期からの子育て」

講師：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 愛育相談所

所長 齊藤 万比古(小児精神科医師)

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
対象者 愛育班員、保健師、助産師、看護師、教職員、保育士、地域の子育て支援者等、その他関心のある方
参加費 無料

愛育班等組織支援担当者会議

時間 15:30~16:45

会場 三重県総合文化センター 2階小会議室

主催 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
対象者 愛育班のある県・保健所・市町村の愛育班等組織支援担当者

2018
11/8
Thursday

式典及び特別講演

時間 13:10~16:00

会場 三重県総合文化センター 中ホール

12:00 受付
13:10 式典 挨拶/厚生労働大臣・三重県知事・津市長
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長
一般社団法人日本家族計画協会会長
公益社団法人母子保健推進会議会長
表彰/厚生労働大臣表彰
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長表彰
一般社団法人日本家族計画協会会長表彰
公益社団法人母子保健推進会議会長表彰

来賓祝辞
受賞者謝辞
次期開催挨拶 千葉県

14:30 休憩

14:40 特別講演 演題「奇跡のすぐそばにということ」

講師 荻田 和秀(りんくう総合医療センター泉州広域
母子医療センター長兼産婦人科部長)

※漫画・ドラマ「コウノドリ」の主人公のモデルとなった
産婦人科医



「コウノドリ」©鈴木木ユウ/講談社

2018
11/8
Thursday

母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会

時間 16:20~19:20

会場 三重県総合文化センター 小ホール

表彰 「健やか親子21 -8020の里賞(ロッセ賞)-」表彰、受賞対象作品紹介
講評 高野 直久(公益社団法人日本歯科医師会常務理事)

講話 「マイナス1歳からのむし歯予防」
講師 仲井雪絵(静岡県立大学短期大学部歯科衛生学教授)

特別講演 「最近の母子保健を取り巻く状況」
講師 平子 哲夫(厚生労働省子ども家庭局母子保健課長)

シンポジウム 「妊娠前から切れ目なく母子を支えるために～関係性の築きに焦点を当てて～」
座長 佐藤 拓代(公益社団法人母子保健推進会議会長・大阪府立病院機構
大阪母子医療センター母子保健情報センター顧問)

基調講演 「親子と関係性を築くために支援者に求められるポイント～ネウボラからの示唆～」
講師 高橋 睦子(吉備国際大学大学院社会学部福祉学専攻科長・教授)

事例報告 ①城田 圭子(三重県菟野町子ども家庭課子育て支援係係長)
②藤原 美輪(兵庫県稲美町健康福祉部こども課子育て世代包括支援担当課長)

主催 公益社団法人母子保健推進会議・全国母子保健推進員等連絡協議会
対象者 自治体母子保健担当者・母子保健推進員等地域組織の方・関心のある方
参加費 無料ですが、事前申し込みが必要です。
※会場ロビーにて、母推協議会活動、「8020の里賞(ロッセ賞)」受賞活動の
展示を行います。

2018
11/9
Friday

シンポジウム

時間 9:15~11:45

会場 三重県総合文化センター 中ホール

テーマ 「お母さんの心と体、みんなで支えよ!
～産前・産後における切れ目のない支援をめざして～」

第I部 基調講演(9:15~10:00)

演題 「周産期メンタルヘルスの現状と今日的課題」

講師 岡野 禎治(三重大学名誉教授)

第II部 パネルディスカッション(10:05~11:45)

○コーディネーター 岡野 禎治(三重大学名誉教授)
○パネリスト 松岡 典子(NPO法人MCサポートセンターみくみえ代表)
宮崎 明子(鈴鹿市健康福祉部健康づくり課主幹)
柳瀬 幸子(ヤナセクリニック院長)
井澤 淑子(津市母子保健推進員)
落合 仁(落合小児科医院院長)

2018
11/9
Friday

家族計画研究集会(ランチョンセミナー)

※参加希望者は事前に下記へ参加の申し込み手続きが必要です

時間 12:15~14:15(受付・軽食配布11:45~)

会場 三重県総合文化センター 1階レセプションルーム

テーマ 「性教育一どこまで教えるの? ~子ども達の明るい未来のために~」

開会にあたって 一般社団法人日本家族計画協会 理事長 北村 邦夫
講演1 「三重県の産婦人科医としての性教育実践」 講師 川村 真奈美(JA三重厚生連 三重北医療センターいなべ総合病院産婦人科部長)
講演2 「国際的に期待されている性教育とは」 講師 良 香織(宇都宮大学教育学部 准教授)
パネルディスカッション 「性教育一どこまで教えるの?」
定員 200名(先着順、要事前申込み)
申込方法 日本家族計画協会HP(<http://www.jfpa.or.jp>)のWEB申込みフォームからお申込みいただくか、参加申込書をダウンロードし、郵送かFAX(03-3267-2658)してください。
※お申込みいただいた方には参加証(軽食引換券)をお送りいたします。

主催 一般社団法人日本家族計画協会
対象者 保健師・助産師・看護師・医師・薬剤師・養護教諭・教職員・一般等
参加費 無料